

オール沖縄の翁長県政を支える若い力 じろくまさたか(次呂久成崇)さんを県議会へ

2015年11月23日 日本共産党八重山郡委員会

来年6月に県議選挙がたたかわれます。この選挙は新基地建設をストップさせ、普天間基地の閉鎖・撤去ができるかどうか大きな争点となります。

同時に、戦争する国づくりをすすめる安倍政権の暴走政治から、市民・県民のくらしと福祉、平和を守る翁長県政を支え、発展させるかどうか問われる歴史的な選挙戦となります。

安倍政権は、県民の圧倒的民意を無視し、新基地建設を強行しようとしています。そのために拮抗している与野党議席を逆転させようと翁長県政の転覆を狙い、政府の総力を挙げて選挙戦に臨んでいます。

辺野古新基地建設を断念させるためにも、翁長知事を支える与党議員をさらに増やす必要があります。ひきつづき行われる参院選沖縄選挙区には、オール沖縄候補としてイハ洋一さんが決意し、勝利に向け奮闘しています。県議選・参院選で大勝利し、安倍政権に痛打を与え、政権打倒に向かう選挙結果を出さなければなりません。

選考委員会での候補者決定の経過について

翁長知事を支え、八重山のために奮闘してきた高嶺善伸県議は勇退を表明しました。そのため、オール沖縄の立場に立つ後継者選びで、わが党は社民、社大などの政党、野党市議団、労組や市民・平和団体とともに選考委員会をつくり、候補者選考にあたってきました。

当初、選考委員会でも自薦・他薦で選考対象となったのは4人です。その方々から出馬の決意や政策の意見表明の機会も設定するなど、16回の選考委員会をひらき審議を尽くしてきました。

その結果、41歳の若い「次呂久成崇(じろくまさたか)」さんを、翁長知事を支えるオール沖縄の最もふさわしい候補として選び、出馬を要請しました。

じろくさんは、選考委員会の要請にこたえ、県議立候補を表明し17年間勤めてきた県・市職員を9月末で退職しました。この不転の決意を示したじろくさんを、何としても勝利させなければなりません。

オール沖縄で団結し、県議選勝利と安倍暴走政治に「ノー」を示そう

昨年の県知事・衆議院選挙では、圧倒的勝利で翁長県政を誕生させ、県民を裏切った自民党国会議員は4選挙区のすべてで退場させるという審判を下しました。この力となったのが普天間基地の閉鎖・撤去をもとめた「建白書」で、心をひとつにしたオール沖縄です。

安倍政権は、辺野古新基地の「埋め立て承認取り消し」を求めた翁長知事を裁判で訴えるなど、無法なやり口で新基地建設を強行しようとしています。市民・県民の思いを無視する、安倍政権の強権的な基地おしつけは絶対許せません。

安倍政権は、憲法9条を壊す「安保法制」をつくり、戦争する国づくりで自衛隊をアメリカの戦争におくりこもうとしています。その具体化が八重山、与那国などに自衛隊を配備し、軍事的緊張を持ち込もうというものです。これは、市民のくらしや平和、観光産業をも破壊するものです。中山現市長もこの暴走政治の推進者です。

独裁政権に正面から立ち向かうためには、オール沖縄のたたかいをオール日本に広げる必要があります。党は国民連合政府を打ち出し、一点にもとづく野党共闘を呼びかけています。この道こそ、安倍政権を打倒し、国民が主人公の政治へ踏み出す第一歩となります。

県議選・参院選においても、この立場が重要になります。党は、オール沖縄に団結し、じろくまさたかさん、イハ洋一さんの勝利のために、全力を挙げて奮闘するものです。支持者、後援会のみなさんのお力添えを心から訴えるものです。

